

# 完成した工事を一括で無効にする方法



この資料では、

「完成した工事を一括で無効にする方法」について記載しています。

勘定奉行 i 10/ i 8[建設業編]シリーズ、勘定奉行V ERP10/V ERP8[建設業編]では、工事は会計期間をまたいで使用するため、**過年度に伝票があると削除できません**。そのため、完成した工事を翌期以降で、仕訳入力で使用しない、帳票に出力させないためには、工事を無効にします。

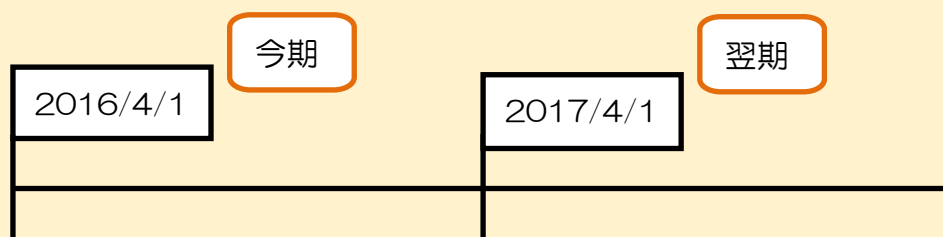
なお、完成した工事を無効にすることで、集計速度を改善できます。

以下の2つの方法をご用意していますので、どちらかの方法でご対応ください。

- ・「P2：入金残または支払残がある工事を無効にする。」
- ・「P4：入金残と支払残がともにない工事を無効にする。」

## 参考

翌期に工事トを無効にするためには、有効期間（終了日）に今期の期末日を設定します。



### ●工事 A

有効期間終了日：2017/3/31

⇒今期：有効 、 翌期：無効

※有効期間が今期までとなっているため、翌期は無効です。

### ●工事 B

有効期間終了日：2017/6/30

⇒今期：有効 、 翌期：有効

※有効期間が翌期の途中になっているため、翌期は有効です。

※本手順書の画面イメージは『勘定奉行 i 10[建設業編]シリーズ』のものです。

画面イメージはご利用の製品、バージョンにより異なる場合があります。

## 入金残または支払残がある工事を無効にする。

今期中に完成した工事を翌期では使用しないため、[随時処理]-[データー括変更]-[マスターデーター括変更]-[マスターデーター括無効]メニューを実行し、工事を無効にします。なお、本メニューでは、入金残または支払残がある工事を無効にすることができます。

### ● マスターデーター括無効

マスター種類選択

マスター種類  
取引先  
工事

OK

① 「工事」を選択し、  
[OK]ボタンをクリックします。

無効にするマスターの種類を選択します。

マスターデーター括無効 - 条件設定

基本条件 項目選択

有効期間（終了）日付指定  
2017 年 3 月 31 日

範囲指定  
完成区分 1 完成

完成日 2016 年 4 月 1 日 ~ 2017 年 3 月 31 日

指定なし

完成工事の詳細指定  
☐ 入金残がある工事を含まない  
☐ 支払残がある工事を含まない

科目設定(S)...

画面(Y)

② 「今期の期末日」を入力します。

③ 「完成区分」を選択し、  
「1：完成」を指定します。

④ 「今期の会計期間」を指定します。

- ⑤ 入金残または支払残がある工事を無効にするため、  
チェックをはずします。  
※入金残、支払残がある工事の確認方法は、6 ページを参照

マスターデータ一括無効

〇ＢＣ建設株式会社 会計期間：2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日 MyA+ス ?

有効期間（終了）日付 2017年 3月 31日

⑥ 無効にしたい工事にチェックをつけます。  
※「F7：全選択」ボタンをクリックすると、  
すべての工事にチェックがつきます。

工事コード	工事名	年	月	日	年	月	日
<input checked="" type="checkbox"/>	00000000015 いこ						
<input checked="" type="checkbox"/>	00000000016 市						
<input checked="" type="checkbox"/>	00000000017						
<input checked="" type="checkbox"/>	00000000019 春川株式会社						
<input checked="" type="checkbox"/>	00000000020 夏山コーポレーション						
<input checked="" type="checkbox"/>	00000000024 駅前すべりどめ舗装等						
<input checked="" type="checkbox"/>	00000000029 秋山商事株式会社本社						
<input checked="" type="checkbox"/>	00000000031 駅前再開発区画整備事						
<input checked="" type="checkbox"/>	00000000032 駅前歩道橋補修工事						
<input checked="" type="checkbox"/>	00000000034 中塚駅新築工事						
<input checked="" type="checkbox"/>	00000000035						

⑦ 「F2：実行」ボタンをクリックします。

F1 操作説明 F2 実行 F3 F4 F5 F6 F7 全解除 F8 F9 F10 条件設定 F11 F12 閉じる

バックアップ確認

⑧ [はい]ボタンをクリックして、  
バックアップをお取りください。

処理を実行する前に、現在使用  
行いますか？

注意  
万が一に備え、バックアップを行うことを強

はい(Y) いいえ(N)

マスターデータ一括無効

無効日付：2017年 3月 31日  
上記日付で無効にします。よろしいですか？

OK キャンセル

マスターデータ一括無効

処理が終了しました。

OK

## 入金残と支払残がともない工事を無効にする。

[決算処理]-[期末処理]-[期末残高繰越]メニューにて、期末残高の繰り越しと同時に完成した工事を無効にすることができます。

### ● 期末残高繰越

期末残高繰越

〇ＢＣ建設株式会社 会計期間：2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日 My7Plus

繰越元 会計期間 2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日 決算期 第 6 期

繰越先 会計期間 2017年 4月 1日 ～ 2018年 3月 31日

詳細設定

☒ 完成した工事を翌期では無効にする

繰越利益剰余金の算出方法 翌期の期首残高  
仮払・仮受消費税の繰越部門 「仮払・仮受消費税」

実行情報

処理日時	備考欄

操作ガイド

の会計期間で伝票の追加や修正があった場合に、その影響額をの期首残高へ反映させます。情報欄の備考欄に、「繰越完了」と表示されていれば、残高に関する処理は完了になります。

【注意】  
処理を実行後、チェックリストが出力された場合、または実行情報に「繰越完了」以外の履歴が表示されている場合は、チェックリストを参考に、別途対応が必要です。

F1 操作説明 F2 実行 F3 F4 F5 F6 F7 F8 印刷 F9 詳細設定 F10 通知設定 F11 F12 閉じる

### 参考

[期末残高繰越]メニューでは、入金残と支払残がともない工事のみ無効にできます。

入金残または支払残がある工事を無効にする場合は、2ページを参照してください。  
また、入金残、支払残がある工事の確認方法は、6ページを参照してください。

## 工事を無効にした場合の挙動

### ● 工事登録

有効期間の終了日に、日付が設定されます。

- ・マスターデータ一括無効 : 有効期間（終了）日付指定で指定した日付
- ・期末残高繰越 : 前期の期末日

工事登録

〇ＢＣ建設株式会社

参照

コード 00000000051

工事番号

工事名 東西ビル改築工事

工事略称 東西ビル改築工事

基本 完成 区分 請負 売上伝票

有効期間 年 月 日 ~ 2017 年 3 月 31 日

### ● 仕訳処理

仕訳処理

〇ＢＣ建設株式会社

新規

伝票日付

行 部

工事 / 工種

001 東京第一建設部

5441 外注加工費 課仕入 8.0%

00000001 東京総合建築株式会社

00000000051

無効な工事を指定するとメッセージが表示されるため、入力ミスを防げます。

有効期間外の工事です。

OK

#### 参考

無効な工事に仕訳を追加する場合には、[工事登録]メニューで、有効期間の終了日を変更してください。

### ● 原価帳票

工事一覧表

〇ＢＣ建設株式会社

会計期間: 2017 年 4 月 1 日 ~ 2018 年 3 月 31 日

集計期間 自 2017 年 4 月 1 日 至 2018 年 3 月 31 日

税処理 税抜 集計方法 発生 (単位: 円)

コード	工事名	予定期間 (終了)	材料費	労務費	外注費	経費
00000000011	区立公園補修整備工事	2018年				1,327,901
00000000015	いこいの家会議室天井改修工事	2018年				571,948
00000000019	春川株式会社本社ビル改築	2018年				979,208
00000000020	夏山コーポレーション本社ビル改修工	2018年				1,120,903
00000000024	駅前すべりどめ舗装等工事	2018年				262,259
00000000035	新幹線道路舗装工事	2018年				6,593,444
00000000101	中央ビル改築追加工事	2018年				422,006
00000000102	東海倉庫改築工事	2018年10月21日	8,777,778	6,415,672	2,037,038	2,539,560
	【完成合計】		56,402,321	36,344,153	23,283,340	23,807,587

無効な工事は、出力されません。  
※条件設定で直接無効な工事を指定した場合は、出力されます。

F1 操作説明 F2 印刷等 F3 F4 F5 F6 ジャンプ F7 情報 F8 再集計 F9 単位設定 F10 条件設定 F11 F12 閉じる



# 入金残・支払残がある工事の確認方法

## ● 入金残の確認方法

[原価帳票]-[工事別原価帳票]-[工事一覧表]-[工事一覧表]メニューより、入金残を確認できます。

工事一覧表 - 条件設定

基本条件 詳細条件1 詳細条件2

工事一覧表レイアウト 指定なし

集計方法  
☒ 発生  
☐ 累計

集計期間  
 2017年 3月期 ~ 2017年 3月期  
 月範囲(I)... 2016年 4月 1日 ~ 2017年 3月 31日

集計対象  
☒ 工事 ☐ 工事区分

集計対象指定  
☐ 工事を指定する  
☐ 親工事にまとめて集計する

完成区分  
☐ 未成 ☒ 完成 ☐ 両方

完成日指定なし 年 月 日

① 集計期間は、無効にする日を含む会計期間を指定します。  
 例) 無効にする日が前期の期末日のため、前期を指定する。

② 完成区分は、「完成」を選択します。

基本条件 詳細条件1 詳細条件2 工種 項目選択

☐ 原価管理項目区分コードを表示する

工事出力設定  
☐ 原価管理項目区分に金額がある工事だけ出力する  
☒ 入金残高がある工事だけ出力する  
☐ すべての工事を出力する

☐ コードが[0]の工事を表示する

③ 工事出力設定は、「入金残高がある工事だけ出力する」を選択します。

工事一覧表

〇〇〇建設株式会社 会計期間: 2016年 4月 1日 ~ 2017年 3月 31日 税処理 税抜 集計方法 発生 (単位: 円)

コード	工事名	坪数	坪単価	入金額	入金残	入金率
0000000005	北原商店改修工事	120.00	79,171	10,000,000	422,000	95.95
0000000006	大島様宅改築工事	80.00	34,539	3,000,000	2,616,000	53.42
0000000007	仲島様宅増築工事	50.00	86,987	9,000,000	504,000	94.70
0000000008	小嶋様宅解体工事	135.00	12,330	1,500,000	282,000	84.18
0000000009	東西ビル改築工事	0.00	0	0	70,848,000	0.00
0000000011	区立公園補修整備工事	0.00	0	500,000	10,800,000	78.95
0000000015	いこいの家会議室天井改修工事	0.00	0	0	3,561,200	44.02
0000000016	市立図書館ロビー改修工事	0.00	0	0	4,856,000	45.17
0000000018	県立第二高校木造校舎解体工事	0.00	0	0	3,161,800	71.87
0000000019	春川株式会社本社ビル改築	0.00	0	0	24,192,000	0.00
0000000020	夏山コーポレーション本社ビル改修工	0.00	0	4,000,000	33,260,000	10.74
0000000024	駅前すべりどめ舗装等工事	0.00	0	40,500,000	-35,767,440	855.77
0000000029	秋山商事株式会社本社ビル改修工事	0.00	0	26,000,000	1,432,000	94.78
0000000031	駅前再開発区画整備事業	0.00	0	80,000,000	11,173,600	87.74
0000000032	駅前歩道橋補修工事	0.00	0	25,000,000	1,136,000	95.85

完成工事で、入金残がある工事だけが出力されます。

F1 操作説明 F2 印刷等 F3 F4 項目選択 F5 F6 ジャンプ F7 情報 F8 再集計 F9 単位設定 F10 条件設定 F11 F12 閉じる

## 《 入金額の集計対象の科目について 》

以下の2つの勘定科目を対象とします。

- ・[導入処理]-[原価管理体系登録]-[原価管理項目登録]メニューで、「項目属性」が「売上」「未成工事受入金」「完成工事未収入金」になっている原価管理項目と関連づいている勘定科目
- ・勘定科目「仮受消費税」

## 《 入金額の集計について 》

以下の2つの合計金額が入金額として集計されます。

- ・対象の科目の仕訳明細金額（貸方発生金額から借方発生金額を差し引いた金額）
- ・[導入処理]-[工事関連登録]-[工事登録]-[工事登録]メニューの「導入前の入金額」の金額

## 《 入金残の集計について 》

[導入処理]-[会計期間設定]-[原価管理設定]メニューの「入金残計算方法」により集計対象が変わります。

### ◎「請負金額－入金合計」の場合

⇒ 請負金額－入金合計

### ◎「完成工事高－入金合計」の場合

⇒ 完成工事高－入金合計

参照		
基本設定   計算方法   詳細設定		
【請負金額計算方法】		
請負金額計算方法	1	集計期間を加味する
【粗利益計算方法】		
粗利益計算方法	0	請負金額 - 工事原価
【入金残計算方法】		
入金残計算方法	0	請負金額 - 入金合計

※各項目は、以下のように集計します。

### ○「請負金額」

[導入処理]-[工事関連登録]-[工事登録]-[工事登録]メニューの[請負]ページの税込の請負金額です。

なお、[導入処理]-[会計期間設定]-[原価管理設定]メニューの「請負金額計算方法」により、集計対象が変わります。

#### ◆「集計期間を加味しない」

⇒ すべての請負金額を集計します。

#### ◆「集計期間を加味する」

⇒ 請負日付を加味して、集計終了日までの請負金額を集計します。

参照		
基本設定   計算方法   詳細設定		
【請負金額計算方法】		
請負金額計算方法	1	集計期間を加味する

### ○「完成工事高」

以下の2つの合計金額です。

- ・[導入処理]-[原価管理体系登録]-[原価管理項目登録]メニューで、「項目属性」が「売上」になっている原価管理項目と関連づいている勘定科目の税込の明細金額
- ・[導入処理]-[残高入力]-[導入前金額入力]-[導入前実績金額入力]メニューの金額

### ○「入金合計」

「入金額」の「累計」の金額を集計します。

## ● 支払残の確認方法

### 《 支払残の集計対象の科目について 》

[マスターデータ一括無効]メニュー、[期末残高繰越]メニューで「支払残の集計科目」に設定された勘定科目が対象です。

マスターデータ一括無効 - 条件設定

基本条件 項目選択

有効期間〈終了〉日付指定  
2017 年 3 月 31 日

画面(V)

範囲指定

完成区分 1 完成

完成日 年 月 日 ~ 年 月 日

指定なし 年 月 日 ~ 年 月 日

完成工事の詳細指定

☒ 入金残がある工事を含まない

☒ 支払残がある工事を含まない

科目設定(S)...

マスターデータ一括無効 - 科目設定

支払残の集計科目

勘定科目コード

コード	名称
2113	工事未払金

参考

あらかじめ「工事未払金」が設定されています。

削除(D)

登録 閉じる

期末残高繰越

〇BC建設株式会社

期末残高繰越 - 詳細設定

繰越利益剰余金 消費税科目 完成工事

完成工事の無効条件

支払残の集計科目

勘定科目コード

コード	名称
2113	工事未払金

削除(D)

入金残の集計項目

入金残の集計項目を確認する場合は、[操作説明]を押します。

OK キャンセル 操作説明(H)

操作ガイド

計期間で伝票の追加や修正した場合に、その影響額を当期末高へ反映させます。の備考欄に、「繰越完了」が表示されている場合は、残高処理は完了になります。

行後、チェックリストが完了した場合、または実行情報完了」以外の履歴が表示されている場合は、チェックリストに、別途対応が必要です。

繰越利益剰余金」、「仮払税・仮受消費税」科目の方法の変更は、[詳細設定]を押します。

工事の翌期では無関係な項目については、[操作説明] (F1) をご覧ください。

操作説明 (F1)

翌期首で再計算する  
翌期の期首残高で貸借差額が発生しないように調整されます。  
基本的にはこちらを選択します。

当期金額を繰り越す  
「繰越利益剰余金」科目の当期の期末残高を、そのまま翌期へ繰り越します。  
「繰越利益剰余金」科目の翌期の期首残高と前期の期末残高は一致します。  
詳細⇒[操作説明]ボタン

F1 操作説明 F2 実行 F3 F4 F5 F6 F7 F8 印刷 F9 詳細設定 F10 通知設定 F11 F12 閉じる



## 《 支払残の集計について 》

「支払残の集計科目」に指定された勘定科目の金額を集計します。

## 《 「支払残の集計科目」に指定された勘定科目の残高の集計方法について 》

指定した「有効期間(終了)日付」により、集計方法が異なります。

- ◎ 指定した「有効期間(終了)日付」が、勘定奉行導入後の会計期間内の場合  
⇒ [導入処理]-[残高入力]-[開始残高入力]-[開始残高入力]メニューで登録されている  
開始残高 + 仕訳明細金額
- ◎ 指定した「有効期間(終了)日付」が、勘定奉行導入前5年間の会計期間内の場合  
⇒ [導入処理]-[残高入力]-[導入前金額入力]-[導入前実績金額入力]メニューで登録されている  
開始残高 + 発生金額

### 参考

期末残高繰越メニューの場合は、選択している会計期間の会計期末日が「有効期間(終了)日付」になります。

以 上